



KAWASAKI CITY

川崎市上下水道ビジョン・中期計画

PR版

- 川崎市上下水道ビジョン
- 川崎市上下水道事業中期計画
(平成29～33年度)

K
W
S
I
O
N

VISION

「川崎市上下水道ビジョン」と「川崎市上下水道事業中期計画」

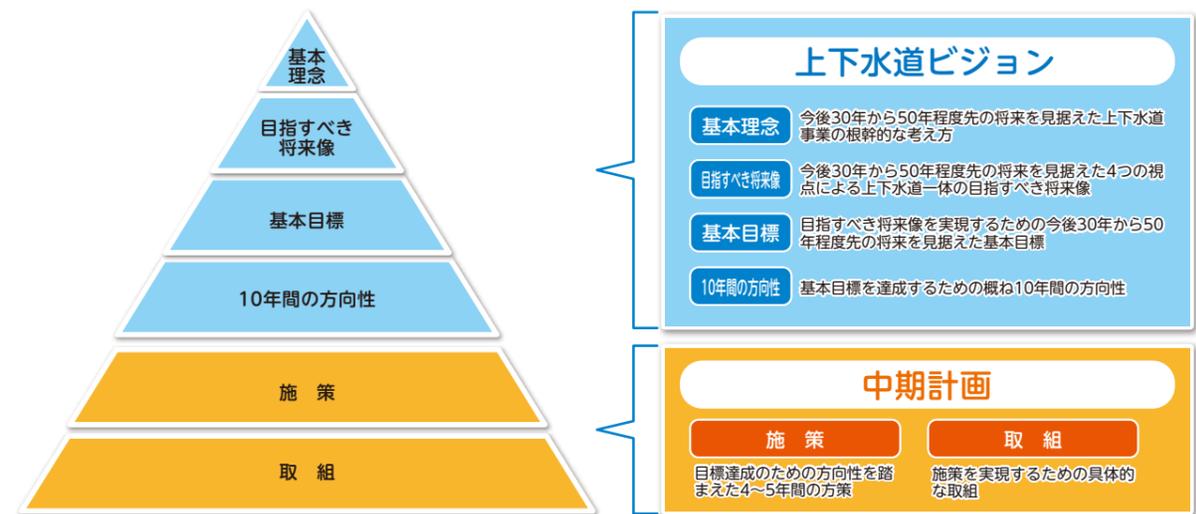
上下水道ビジョンは、将来にわたり本市の水道、工業用水道及び下水道の各事業を持続し、次世代に発展的につないでいくための指針となる長期展望であり、中期計画は、その上下水道ビジョンの実現に向けた実施計画で、施策や具体的な取組を定めているものです。

基本理念：健全な水循環により市民の生活を守る川崎の上下水道

■上下水道ビジョンと中期計画の計画期間



■上下水道ビジョンと中期計画の関係



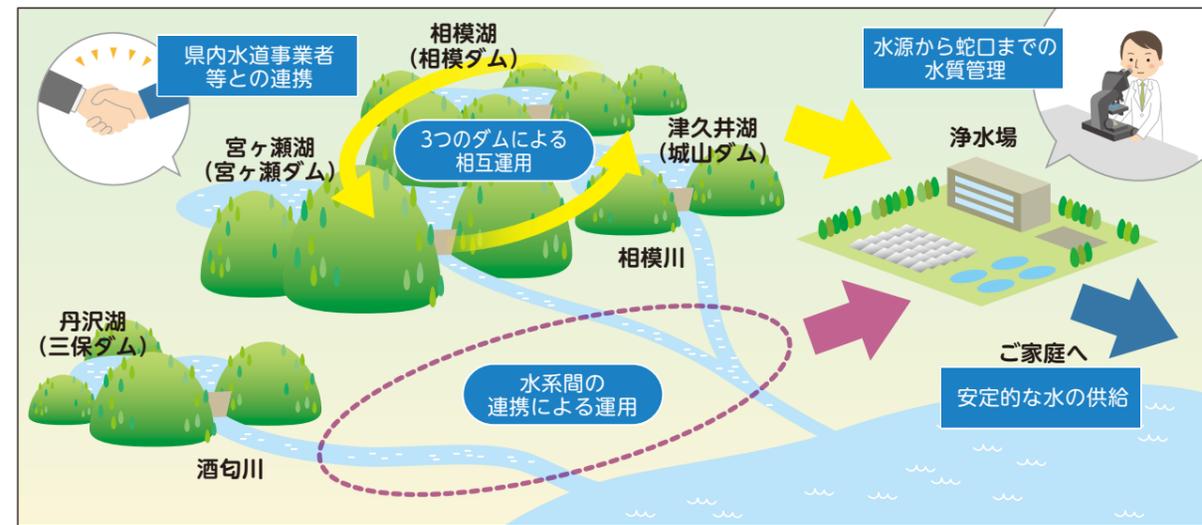
30~50年後の
目指すべき
将来像
01

安全・安心

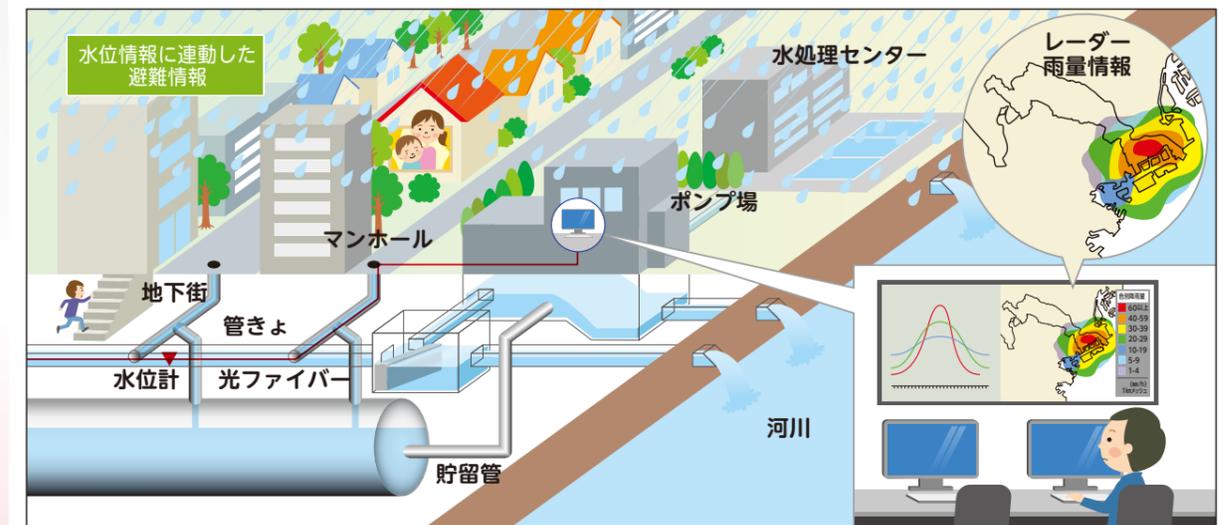
安全な上下水道機能を確保し、安心して暮らせる市民生活を守ります

上下水道は、いつでも、どこでも、だれにでも、安全でおいしい水道水の供給や、安定した工業用水の供給、汚水・雨水の適切な排水機能の確保により、首都圏に位置する好立地を生かして発展を続ける本市の市民生活の基盤として、市民の生命・財産や事業者の経済活動を守り続けています。

■ 広域連携による良質で安全な水の供給



■ 総合的な浸水対策の推進による水害に強い街



中期計画期間（平成29~33年度）の主な取組

① 水質管理の徹底

水道水に対するリスクに対応する「水安全計画」を実行することで総合的な水質管理を行うとともに、「水質検査計画」に基づいて検査を実施し、その結果を提供します。また、水質検査結果の精度と信頼性については「水道GLP（水道水質検査優良試験所規範）」により確保します。



② ダムの相互連携等による水運用

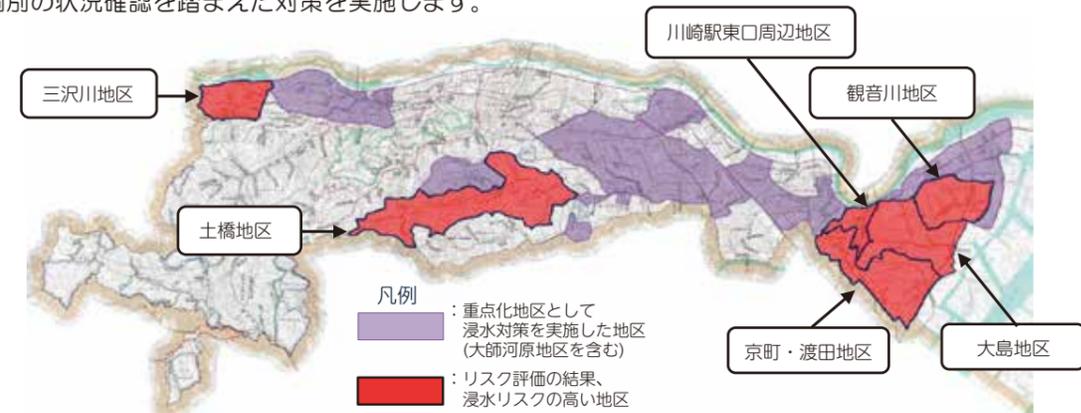
相模ダム・城山ダム・宮ヶ瀬ダムを導水路で連携することによる効率的な運用や、神奈川県内広域水道企業団の施設を中心とした相模川水系と酒匂川水系の連携により、渇水などに強い水道システムを維持します。



相模ダム

③ 重点化地区等における浸水対策

浸水シミュレーションの実施結果から、浸水リスクが高いことが確認された6地区を新たな重点化地区に位置付け、対策を推進するとともに、それ以外でも局地的な浸水被害が発生している箇所においては、個別の状況確認を踏まえた対策を実施します。



④ 水位データ等の活用による浸水対策

雨量・水位データを活用した効果的な施設の運転管理を行うとともに、非常時には水位情報を防災管理者へ通知し、避難につなげる取組を行います。

30~50年後の
目指すべき
将来像
02

強靱な上下水道

災害時においても機能を維持できる強靱な上下水道を目指します

人口密度が高く、事業所や研究開発機関等が集積する本市において、大規模地震や津波といった災害等の非常時でも、市民や事業者の生命・財産を守るため、施設機能に重大な影響が及ぶことなく、被害を最小限に抑制し、迅速に復旧する上下水道になっています。

■ 耐震化された強靱な上下水道施設



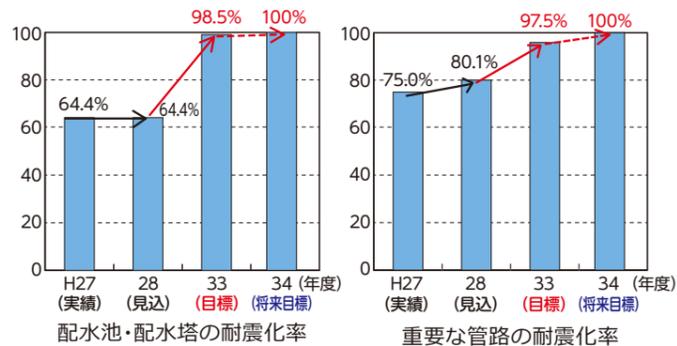
■ 緊急対応・応急復旧対応の体制の確立



中期計画期間（平成29~33年度）の主な取組

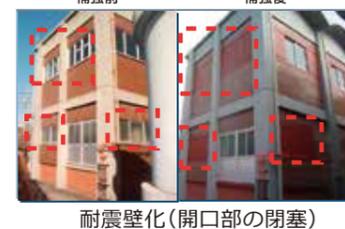
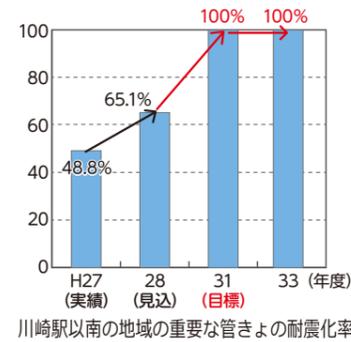
① 水道施設・管路の耐震化

再構築事業により水道の浄水施設及び工業用水道の調整池の耐震化率は100%となりましたが、引き続き、配水池・配水塔や工業用水道の浄水施設の耐震化を進めます。水道管路については、管路の更新にあわせて耐震化を進め、このうち、重要施設（市立小・中・高等学校等の避難所及び重要な医療機関）への供給ルート of 管路や老朽配水管を「重要な管路」と位置付け、平成34年度を目標に耐震化を完了します。



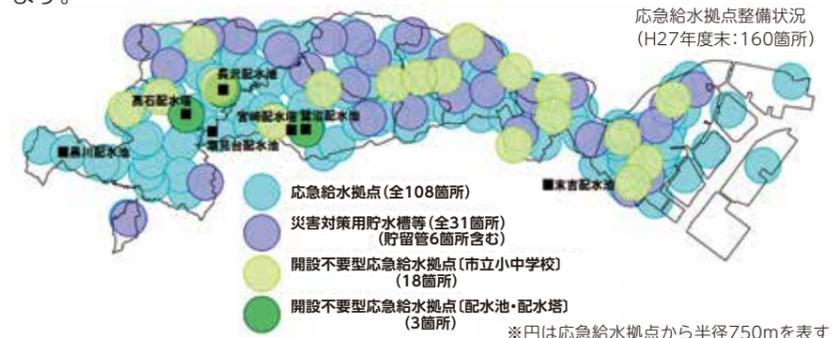
② 下水管きよ・施設の耐震化

重要施設等と水処理センターとを結ぶ下水管きよなどの「重要な管きよ」を、優先的に耐震化します。特に老朽管が多い川崎駅以南の地域の耐震化を進めますが、川崎駅以北の地域についても耐震診断を行い、重要な管きよの耐震化に取り組みます。水処理センター・ポンプ場での地震対策として、施設を運転・制御する機能（管理機能）と下水を下流へ流す機能（揚水機能）の確保に優先的に取り組みます。



③ 応急給水拠点の整備

これまで整備を進めてきた応急給水拠点に加えて、供給ルートの耐震化が完了した市立小中学校の水飲み場などを利用した開設不要型の応急給水拠点の整備を進め、平成35年度を目標に整備を完了させます。



④ 災害時の連携強化

他都市や民間企業との災害時の応援体制を強化するとともに、市民とも連携し、災害時を想定した訓練を実施します。

30~50年後の
目指すべき
将来像
03

環境への配慮

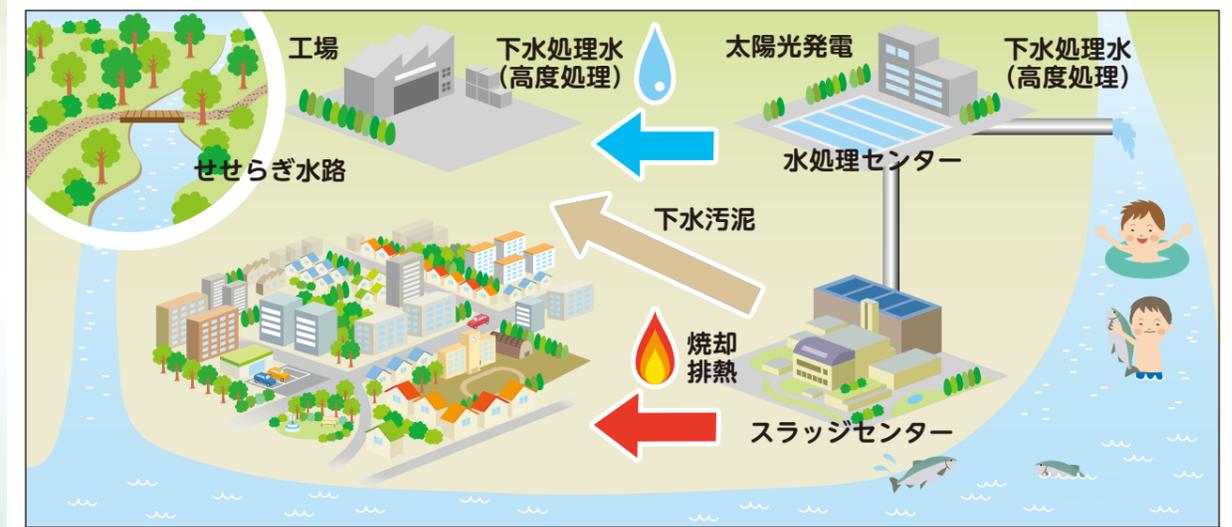
快適な水環境や地球環境に配慮した事業を推進します

水源を共にする県内水道事業者等と連携し、水源水質の保全や貴重な水資源の有効利用を図るとともに、下水道システムにより使った水をきれいに川や海へ戻すことで快適で暮らしやすい水環境を維持・創造しており、放流先である海や川など水辺も良好な環境となっています。また、本市の地形を生かし水源から家庭までの自然流下による給水や再生可能エネルギーの活用、産学官連携等の取組による資源の循環など、環境にやさしい事業運営により、地球環境に貢献しています。さらに、国際展開を通じて世界の水環境改善に貢献しています。

■環境にやさしい水道システム



■下水道による良好な環境の創造



中期計画期間（平成29~33年度）の主な取組

① 水資源の効率的利用

県内水道事業者等との共同事業として、エアレーション装置の設置などによるアオコの異常発生抑制や、相模貯水池の有効貯水容量の維持・回復を目的に、相模貯水池に対する浚せつなどを実施します。

※「アオコ」とは、湖沼等において水面に藍藻などのプランクトンが著しく発生する現象とその藻類を指す。水道水の異臭味の原因にもなるものです。



相模貯水池での浚せつの様子

② 自然流下による水道システム

地形の高低差による位置エネルギーを生かした自然流下方式の水道システムを継続します。



③ 再生可能エネルギーの利用

水道・工業用水道・下水道施設の一部等に設置した太陽光発電や水力を利用した小水力発電などの再生可能エネルギーを有効に利用するとともに、新たに入江崎水処理センター西系再構築施設にも、太陽光発電設備を設置します。



生田配水池太陽光発電設備

④ 水処理センターの高度処理化

汚水処理により公衆衛生の改善・公共用水域の水質汚濁防止に努めてきましたが、富栄養化の原因物質とされる窒素やリンが通常の処理では除去できないことから、さらなる公共用水域の環境改善を目的として、水処理センターの再構築や既存施設の改造などによる水処理センターの高度処理化に向けた取組を推進します。



入江崎水処理センター西系再構築事業

⑤ 汚泥処理施設における温室効果ガスの抑制

下水汚泥の焼却過程において、二酸化炭素（CO₂）と比べて温室効果の高い酸化二窒素（N₂O）が排出されており、上下水道事業全体で排出する温室効果ガスのうち大きなウェイトを占めていることから、下水汚泥焼却施設の更新や既設炉の改造により温室効果ガスの発生量を削減します。

《温室効果ガス削減目標》
6,400(t-co₂)/年
(対H28年度比)

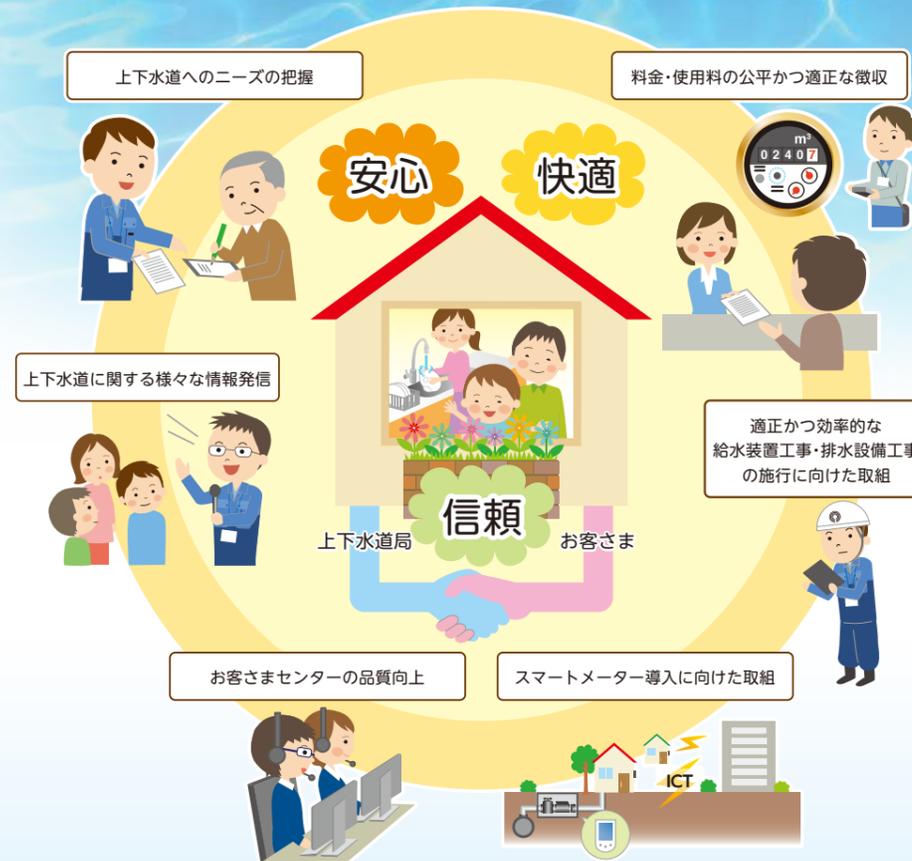
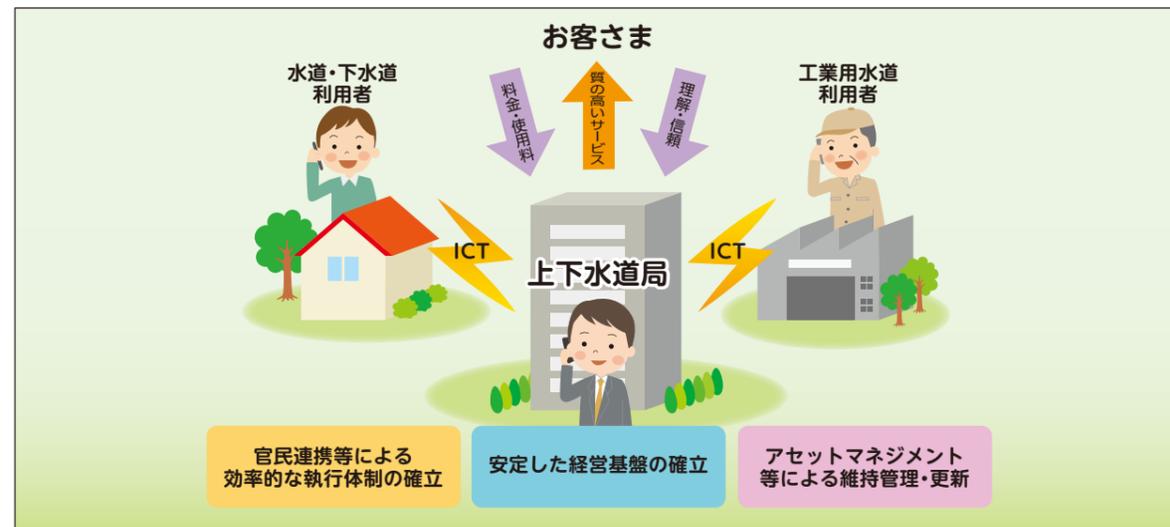
30～50年後の
目指すべき
将来像
04

お客さまサービスの充実

質の高いサービスの提供と持続可能な経営基盤の確保を目指します

ICT（情報通信技術）の活用などによる双方向のコミュニケーションを通じ、お客さまのライフスタイルにあわせた質の高いサービスを提供しています。また、コンパクトな給水区域及び下水処理区域を生かし、アセットマネジメント等による施設の維持管理、更新が図られ、適切な建設投資が行われているとともに、様々な経営の効率化と適正な受益者負担のもと、持続的な経営がされています。

■お客さまサービスの提供と経営基盤の確保



中期計画期間（平成29～33年度）の主な取組

① 川崎の上下水道の魅力の発信

広報紙、上下水道局ウェブサイトなどを通じ、水道の安全性や水源地の重要性、下水道の役割等と併せて、上下水道の先進的な取組等をお客さまにわかりやすく伝えます。また、水処理技術等の情報発信の場として、長沢浄水場と入江崎水処理センターに広報施設を整備します。



夏休み水道教室



長沢浄水場広報施設イメージ

② お客さまセンターの品質向上

上下水道局の総合受付窓口である上下水道お客さまセンターの品質向上を図るため、応答・対応時間の短縮などに向けた業務マニュアルの更新、FAQ（よくある質問）の充実、研修の実施などに取り組みます。



③ 人材育成・意識改革

人材育成計画に基づく研修などの取組や国内外の貢献活動を通じて人材育成を推進するとともに、働きやすい、働きがいのある環境づくりと、職員の意識改革・意欲向上の推進を図ります。



技術・技能研修

④ 経営の効率化

経営の効率化に向け、民間部門の活用を含めた簡素で効率的・効果的な執行体制の整備や建設改良の平準化、建設改良の財源である企業債残高の適正管理などを行います。

《財政見通し》

中期計画期間中の財政収支は良好な見込みですが、将来の事業環境の変化等に備え、引き続き、料金制度のあり方について検討を行い、健全かつ安定的な経営基盤を確保します。

W
I
S
I
O
N



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

[問い合わせ先]

川崎市上下水道局経営企画課

TEL 044-200-3182

FAX 044-200-3982

E-MAIL 80keikan@city.kawasaki.jp